

事業番号

2021 - 府 - 20 - 0111

令和3年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名		交通環境創造推進事業		担当部局庁	沖縄振興局		作成責任者				
事業開始年度	令和元年度	事業終了(予定)年度	令和2年度	担当課室	参事官(振興第一担当)		井浦 義典				
会計区分	一般会計										
根拠法令(具体的な条項も記載)	沖縄振興特別措置法			関係する計画、通知等	沖縄振興基本方針(平成24年5月内閣総理大臣決定)						
主要政策・施策	沖縄振興			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	沖縄の深刻な交通渋滞への取組の一環として、ビッグデータ等を活用した調査・分析等を基に、住民にも観光客にも利用しやすく、かつ魅力的な交通環境の創造に向けた、戦略的な展開を図ることを目的とする。										
事業概要(5行程度以内。別添可)	①公共交通利用促進調査、②観光客移動円滑化調査、③観光競争力強化のための魅力的な景観創出調査を実施する。										
実施方法	委託・請負										
予算額・執行額(単位:百万円)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求				
	予算の状況	当初予算	-	125	125	-	-				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
		計	0	125	125	0	0				
	執行額		0	124.9	121	-		-			
	執行率(%)		-	100%	97%	-		-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	100%	97%	-		-			
令和3・4年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目		令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由						
	交通環境等改善調査委託費		-	-	令和2年度で事業終了						
	計		-	-							
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と平成30～令和2年度の達成状況・実績							
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標			沖縄の深刻な交通渋滞への取組の一環として、ビッグデータ等を活用した調査・分析等を基に、住民にも観光客にも利用しやすく、かつ魅力的な交通環境の創造に向けた、戦略的な展開を図ることを目的とし、R2年度は必要な調査・検討等を行った。							
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標		代替指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標最終年度	
	交通渋滞の緩和等の交通環境改善に向けて、今後取り組むべき施策を検討するための調査		調査の実施及びとりまとめ報告書の件数		実績	件	-	4	4	-	-
					目標値	件	-	4	4	-	-
					達成度	%	-	100	100	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標				単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	4年度活動見込	
	調査の実施				活動実績	件	-	4	4	-	-
					当初見込み	件	-	4	4	-	-
単位当たりコスト	算出根拠				単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込		
	交通渋滞の緩和等の交通環境改善に向けて、今後取り組むべき施策を検討するための調査費用から単位当たりコストを算出 X:執行額/Y:調査数				単位当たりコスト	百万円	-	31.2	30.1	-	
				計算式	百万円/件	-	124.9/4	120.6/4	-		

再生計画との関係	政策評価	政策	9. 沖縄政策
	政策評価	施策	9. 沖縄振興に関する施策の推進

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	自動車利用の依存度が高い沖縄において、ビッグデータ等を活用した調査・分析等を基に、住民にも観光客にも利用しやすく、かつ魅力的な交通環境を創造することにより、深刻な交通渋滞を緩和するための取り組み等を推進するものであり、国民や社会のニーズは高い。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本調査は、全国的な知見を踏まえ実施する必要があり、また、民間事業者の自発的な取り組みに委ねる性質のものでもないため、調査の効率性の観点からも国が率先して実施する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	自動車利用の依存度が高い沖縄において、ビッグデータ等を活用した調査・分析等を基に、住民にも観光客にも利用しやすく、かつ魅力的な交通環境を創造することにより、深刻な交通渋滞を緩和するための取り組み等を推進するものであり、優先度は高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争・指名競争(最低価格)契約方式による支出先の選定を行っており、競争性と公正性を確保し、経費の削減に努めている。 なお、本事業においては、一者応札・一者応募となったものがあつたが、ヒアリングによりその原因を調査している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	競争入札により業者を選定し、経費の削減に努めている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的に則し、合理的なものとなっている。
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	交通環境等の改善に向けた課題を整理するため、調査の実施及びとりまとめ報告書の作成を行っている。
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	交通環境等の改善に向けた課題を整理するためという目的に則した調査を実施している。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	交通環境の改善に向けて調査実施内容は活用されている。
事業関連	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-

点検・改善結果	点検結果	令和2年度は①基幹バス導入を契機とした出勤時の公共交通利用や時差出勤を促すエコ通勤の取組みを推進及び通学時の送迎交通に関する意識調査等を行い、学校周辺の渋滞緩和に向けた関係者意識の醸成、②北部地域において、交通・観光周遊拠点の創出により、観光客の移動手段の多様化を図り、公共交通の利用促進及び観光客の移動円滑化の実装化を実施、③沖縄らしい景観創出のための植栽維持管理に向けて、既設試行箇所における管理手法の検証、また民間主体型の維持管理の適切かつ確実な運用に向けた管理・運営手法の検討等を実施した。 支出先の選定にあたっては、競争性、透明性及び公平性の確保を図る観点から、総合評価方式により公募を行ったうえで契約を締結している。
	改善の方向性	主な目的は達成しており、特に改善点はない

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

終了予定	本事業は令和2年度で終了となったが、早急の実効性の高いフォローアップに努め、事業の有効性・効率性・成果について適切かつ確に検証し、今後の同種事業実施につなげること。
------	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

予
定
了
通
り

行政事業レビュー推進チームのご所見を踏まえ、事業の有効性・効率性・成果について検証し、今後の同種事業につなげていく。

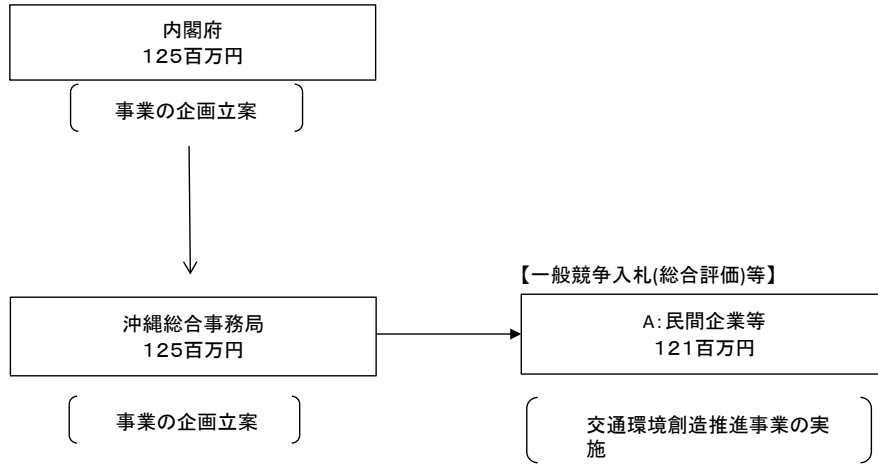
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-			
平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	-			
平成27年度	-			
平成28年度	-			
平成29年度	-			
平成30年度	内閣府 新31-0006			
令和元年度	内閣府 - 新31 - 0003			
令和2年度	内閣府 - 0098			

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.一般社団法人 しまたて協会			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	計画、調査、検討	15	-	-	-
外部委託	試験施工、植栽管理	7.6	-	-	-
その他	印刷費、旅費、間接原価、一般管理費等、消費税	25	-	-	-
計		47.7	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般社団法人沖縄しまたて協会	2360005003753	観光競争力強化のための魅力的な環境創出検討業務	47.7	一般競争契約 (総合評価)	1	98.1%	-
2	計量計画研究所・中央建設コンサルタント設計共同体	5011105004806	交通渋滞緩和に向けた公共交通利用促進調査業務	29.8	一般競争契約 (総合評価)	3	82.1%	-
3	KCS・日本能率協会総合研究所設計共同体	5010401023057	沖縄次世代都市交通システム導入に関する調査検討業務	26.7	一般競争契約 (総合評価)	2	80.6%	-
4	公益財団法人日本道路交通情報センター	2010005004175	交通渋滞等の解消に向けた観光客の移動手段の多様化及び周遊満足度向上方策に関する業務	16.3	一般競争契約 (総合評価)	3	86.2%	-